

コカ・コーラ (KO)

【セクター】 飲料

信買

【市場】 NYSE

信売

【企業概要】

100年以上の歴史をもつ、ノンアルコール飲料の世界最大手。500以上のブランド、4,700種類以上の製品を展開し、炭酸飲料やジュース、コーヒー、ミネラルウォーター、スポーツドリンクなどを手がけています。事業のスリム化のためボトリング事業のスピノフ(分離)を進めています。売上高構成比(24年12月期)は、「濃縮液販売」が59%、「完成品販売」が41%です。「ユニットケース」は全世界のコカ・コーラで使用される共通のケース単位(5.678リットル)です。

【業績】 (単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
24.12期	47,061	12,373	2.86	1.94	5.78	41.9	26.2
25.12期	47,941	12,940	3.00	2.04	7.48	46.0	32.7
26.12期 (予)	49,435	13,927	3.23	2.13	8.49	40.7	-

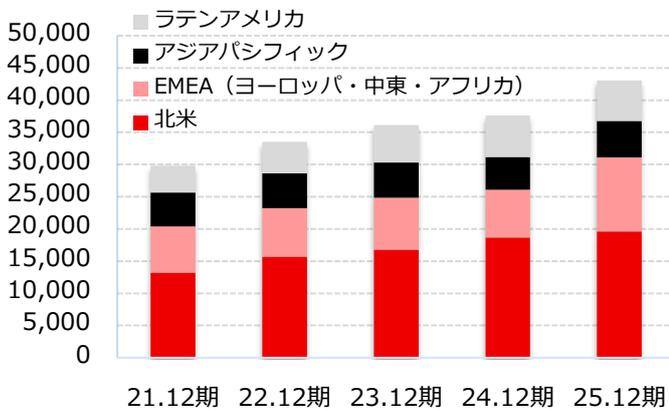
※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】

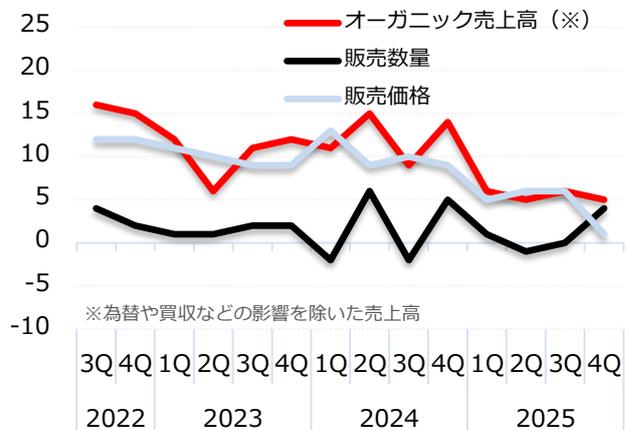
主力事業(※)の市場別売上高の推移 (通期、百万ドル)

※ボトリング投資事業、グローバルベンチャー事業、その他を除いた売上高



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

売上高・販売数量・販売価格の伸び率 (四半期、%)



※為替や買収などの影響を除いた売上高

(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

健康志向の高まりを受け、無糖の「コカ・コーラゼロシュガー」やフレーバーウォーターなどの非炭酸清涼飲料商品への取り組みを進めています。株主還元策として配当を重視しており、25年12月期まで63年連続で増配を実施しました。「コカ・コーラ」という根強い人気商品を支えとした安定成長や連続増配は同社株の魅力と言えます。関税などの貿易環境の不確実性はコスト構造に影響を及ぼす可能性があるとしながらも、「管理可能」との見解を示しています。

【見通し・注目点】

25年10-12月期の売上高は前年比2%増の118億ドルとなり、市場予想の120億ドルには届きませんでした。一方、調整後1株利益(EPS)は0.58ドル(前年は0.55ドル)、オーガニック売上成長率は価格と製品構成の改善により同5%増と、いずれも市場予想をわずかに上回りました。ケース販売量はブラジル・米国・日本がけん引し、1%増加しました。製品別の販売量では主力であるコカ・コーラは同1%増に対し、コカ・コーラゼロシュガーは同13%増と好調で、全地域のセグメントで販売が伸び、売上成長に寄与しました。今後の見通しでは、2026年はオーガニック売上成長率4~5%増を見込んでいます。なお、同社は2025年12月に、2026年3月31日付でのCEO(最高経営責任者)の交代を発表しています。

**本レポートに関するご注意事項**

- ・ご紹介する個別銘柄及び各情報は、投資の勧誘や個別銘柄の売買を推奨するものではありません。
- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

**手数料及びリスク情報等**

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっ株365)、店頭CFD取引(SBI CFD)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

株式会社SBI証券 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号、商品先物取引業者  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会